

## Kマットロール<sup>®</sup> VOC脱臭装置

世界に先駆けて実用化した活性炭繊維：Kフィルター<sup>®</sup>をロール状で活用した濃縮部と電気式触媒酸化部を組合せ、自動的に再生風量を変化させて常に省エネルギーで運転できる装置をご提案いたします。

### 用途

健康を害するような  
作業環境の改善に  
効果的です。

低濃度・小風量の  
VOC脱臭処理に  
適しています。

比較的小規模の  
局所排気処理に  
適応できます。



写真はKR-50型

東洋紡エムシー株式会社

**K-MATROLL<sup>TM</sup>**  
VOC Deodorization Apparatus

省 エ ネ

- 自動的に再生風量を変化させて、常に省エネルギーで運転します。
- 触媒酸化部で発生した廃熱を2台の熱交換器で回収し、電気ヒーターの予熱に使用します。

コンパクト

- 吸着濃縮部と触媒酸化部がパッケージ化されています。
- オール電気式で、他の用役設備が不要です。

高性能

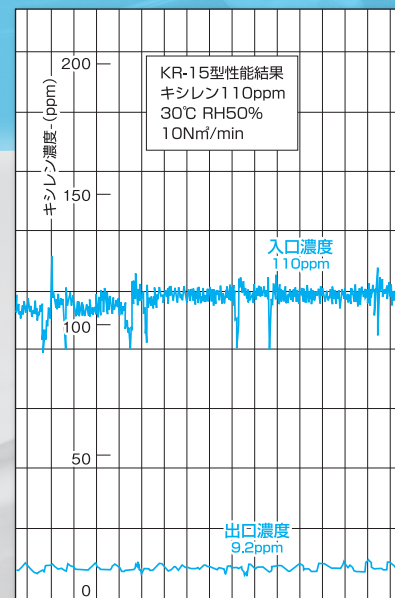
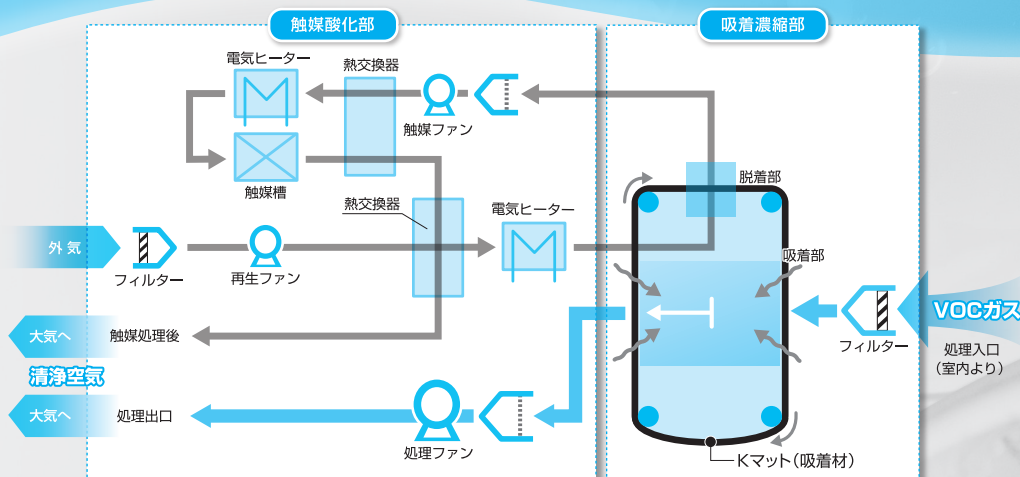
- VOC除去率は90%以上を維持します。

取り扱いが簡単

- 運転・停止は、『自動スイッチ』と『停止スイッチ』を押すだけです。
- Kマット(吸着材)の交換は重機や特殊治具は必要なく、お客様自身が数分で交換可能です。

安心設計

- Kマット(吸着材)は厚み約10mmと薄いため放熱しやすく蓄熱しにくいので安心です。
- VOC高濃度時には電気ヒーターの昇温OFF機能と触媒ファンの風量UP機能が働き、安全に運転できます。



注) 出口濃度については保証値ではありません。

処理原理

- ロール状のKマットはゆっくりと回転しています。
- 低濃度VOCガスはKマットで吸着され清浄化され大気へ放出されます。
- VOCを吸着したKマットは脱着部で小風量の熱風で再生され再び吸着部に移動します。
- 吸着されたVOCは約15倍の濃縮ガスとなり触媒で酸化分解され、清浄空気となって大気へ放出されます。

仕様



型 式		KR-15	KR-25	KR-50	KR-75
処理風量 (MAX.m³/mim)		15	25	50	75
再生風量 (MAX.m³/mim)		1.0	1.7	3.3	6.0
電 気 設 備 容 量 (kW)	処理ファン	0.4	0.75	1.5	2.2
	再生ファン	0.1	0.1	0.2	0.4
	触媒ファン	0.2	0.2	0.2	0.4
	Kマット再生ヒーター	1.0	1.7	3.3	5.0
	触媒酸化用ヒータ	2.3	4.0	7.6	12.0
	合 計	4.0	6.75	12.8	20.0
外形寸法(m)：幅×奥行×高さ		1.2×0.75×1.8	1.5×0.75×2.0	1.8×0.85×2.3	2.25×1.1×2.55
概略重量(kg)		600	750	1100	1400

注1) 処理ファンには機外圧損100Pa程度を含んでいます。

注2) 本装置のKマット及び触媒の寿命保証は致しておりません。

注3) 原ガス中(溶剤含有空気)にハロゲン化合物、有機シリコンやリン及び硫黄化合物、有機金属化合物などが混入する場合、触媒が被毒し性能が低下することがありますので、あらかじめご相談下さい。

## 東洋紡エムシー株式会社

### 環境ソリューション装置営業ユニット

本 社 〒530-0001 大阪市北区梅田1-13-1 大阪梅田ツインタワーズ・サウス  
T.06-6348-3370 F.06-6348-3418

東京支社 〒104-0031 東京都中央区京橋1-17-10 京橋 One Terrace  
T.03-6887-8816 F.03-6887-8885

<https://www.toyobo-mc.jp/products/#section02>

Kフィルター 検索